

# 高槻ハートフル大学市民講座を新たに開催

## ／災害に備えた取り組み強化

### 平成25年度ボランティア・市民活動センター事業計画

新しい講座が始まります！

#### 高槻ハートフル大学 市民講座 第1期生募集！

～元気がいきいき仲間をつくってボランティア～

1年間にわたり、自分たちの暮らす高槻のまちを仲間とともに多方面から学び、つながりを深め、地域の身近な課題を発見・認識します。そしてお互いに知恵を出し合いその成果を地域に生かしていくことで、大きな生きがいや健康づくりにつなげ、豊かな人生を実現する人々の「共育」の文化を育みます。

講座の期間 平成25年5月から平成26年2月まで  
時間は午後1時30分から約2時間

場 所 生涯学習センターほか

受 講 料 2,000円

定 員 40人(多数の場合抽選)

申込方法 住所・氏名・年齢・電話番号・参加動機をはがきに記入のうえ、ボランティア・市民活動センターへ5月15日水曜日必着(紙面左下の連絡先へ)

#### ☆☆☆講座の日程☆☆☆

①開講式 5月23日 午後3時から

基調講演「学びを生かして生きがいづくり」

講師 高槻市長 濱田剛史さん

②「社会福祉の現状について」(6月6日)

③「仲間づくり」(7月4日)

④と⑤「高槻の福祉サービスについて」(8月1日・9月12日)

⑥「元気な地域づくりは健康から」(10月3日)

⑦「笑い与健康」(11月7日)

⑧「市民活動アラカルト」(12月5日)

⑨「交流会」(1月16日)

⑩「さあ踏み出そう第一歩！」(2月6日)

閉講式 2月6日 講義終了後

※修了者には修了証を授与するとともに活動を支援していきます。

ボランティア活動に参加される前に・・・

### ボランティア活動保険

日本国内でのボランティア活動中の事故に対しての保険で傷害保険と賠償責任保険がセットになっています。

4月1日から翌年3月31日までの1年度を補償期間としています。年度途中のご加入の場合、申し込み日の翌日から補償が始まります。

保険料はAプラン300円、Bプラン500円、Cプラン600円で、プランにより補償範囲、補償金額が異なります。

このほかボランティア・市民活動行事保険、非営利・有償活動団体保険、移送中事故傷害保険を取り扱っています。

保険料、加入要件、補償内容など詳しくは、市社協ホームページ、ボランティア・市民活動センターのホームページをご覧ください。市社協までお問い合わせください。

☆このページの記事についての申し込み・問い合わせは・・・

#### 高槻市ボランティア・市民活動センター

569-0804  
高槻市紺屋町3番1-303号  
グリーンプラザたかつき3号館3階  
電話 683-2200  
FAX 683-2209

1. ハートフル大学講座
- ①ハートフル大学市民講座の開催
- ②朗読ボランティア講座(5月中級コース)
- ③手話講座入門編
- ④ボランティアアワードイネーター講座
- ⑤災害ボランティア講座
2. ボランティアサロン
3. ボランティア活動の需給調整
4. ボランティアの登録受付・相談・各種支援
5. 夏休みボランティア体験の実施(7月～9月)
6. ボランティア・市民活動フェスティバル(11月ハートフル大賞の顕彰を同時開催)
7. ボランティア連絡協議会の組織強化
8. ボランティア保険の加入促進
9. 災害ボランティアセンター設置シミュレーションの実施



月まで市内福祉施設でボランティアを体験)

平成25年度の取り組み9事業を展開  
ボランティア・市民活動センターならびに暮らしの総合相談センターの2か所を拠点として、一人でも多くの市民がボランティア・市民活動に参加できるようサロン活動をはじめ各種の事業を展開します。

#### 朗読ボランティア 中級コース募集

視覚に障がいのある方たちのための音訳テープの作成や対面朗読、高齢者や児童への読み聞かせの活動をされている方を対象にした技術向上のため

◇申込方法  
往復はがきに郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・活動状況または受講経歴を記入のうえ、5月8日(水曜日・当日消印有効)までにボランティアセンターへ(紙面左下参照)

◇受講料 2,100円(テキスト代含む)

◇人数 30人(多数抽選)

◇会場 福祉センター4階です。

◇日程 5月30日(木)開講式と実技

6月6日から7月4日まで

7月11日(木)実技と閉講式

7月18日(木)交流会

◇いずれも午後2時～4時、場所は市立障がい者福祉センター4階です。

◇受講料 2,100円(テキスト代含む)

◇人数 30人(多数抽選)

◇会場 福祉センター4階です。

◇日程 5月30日(木)開講式と実技

6月6日から7月4日まで

7月11日(木)実技と閉講式

7月18日(木)交流会

### 災害、その時それぞれの役割：： 市民のつどいwith 総合福祉フェアを開催



講師のくさか里樹さん

東日本大震災に遭遇した主人公が被災地で支援活動をするという設定で描かれた漫画、「ヘルプマン」の作者であるくさか里樹さんを講師として迎え、災害時の1人ひとりの役割をテーマにしたトークセッションを1

月31日に開催しました。講演では、くさかさん自ら被災地へ向かい、現地の人々の思いを聞いたうえで漫画化に至った経緯の話や、日頃から人と人とのつながりを大切に、それがいざという時の助けあいにもつながるとコメントされました。

今回のつどいはあんなにねっとあゆむ総合福祉フェアとの共催で行い、200人近い来場者と共に、災害時の備えの重要性を再認識し、いざという時には、社協や施設などの団体のほか、行政とも連携して支援を行う関係づくりが大切だということ学びました。



☆活動日 火曜日午後1時半～4時  
☆活動場所 ボランティア市民活動センター

### グループ紹介VOL.28 お手持ちの衣料品を改良します 数珠玉の会

寝たきりの方や機能障害のある方のための、着やすい、着せやすい衣服を工夫して作るという人たちが集まってできた会で、平成9年1月より活動しています。作業内容は依頼によってさまざまですが、簡単なものでは、袖を通しや

すいようにファスナーを付けたり、ボタンかけをマジックテープに変えたり、寝たきりの方のパジャマや下着を介護者が脱ぎ着せしやすいうちに、一人ひとりの状態に合わせて相談しながら改良しています。

費用は作業内容によって異なりますが、活動費として100～200円、材料費は別途実費をいただきます。また、一緒に活動できる仲間も求めていますので見学などにお越しください。